

「高校生小論文コンクール」で表彰されました。



©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited

2019
February
15

第20回高校生小論文コンクールにて、本校 文理科1年・瀧口奏子さん(宮崎第一中学校出身)の作品、「**大志を抱け**」が個人部門・奨励賞に選ばれました。

「今こそ大志を語れ」をテーマにしたこのコンクールは全国の高校生を対象に副題を自由に、自分の未来、人生の夢や目標、高校生活などの身近な関心事から福祉・教育問題、環境など社会的な内容に至るまで、様々な作品が寄せられました。

瀧口さんは昨年、自身が参加した本校文理科の「フィリピン研修」にて、スラム街を訪れた時に感じ取った思いを小論文として応募しました。取材の最後には、この経験を経て強く意識した「医師になる」という目標を語ってくれました。

宮崎



宮崎支局
〒880-0806
宮崎市広島1-18-7大同生命宮崎ビル3階
☎0985-25-4254 Fax 20-3467
miyazaki@yomiuri.com

延岡支局
☎0982-33-5101 Fax 33-5105
都城通信部
0986-22-2914 Fax 22-2916

購読は **0120-4343-81**

宮崎読売会 0985-29-7021
Fax 29-7168

【広告】 0985-20-1777
【折り込み】 0985-29-0568



盾を受け取る瀧口さん(左)

瀧口さんに奨励賞

高校生小論文の表彰式

「第20回高校生小論文コンクール」(生涯学習振興学グループ特別協賛)で、財団主催、読売新聞西部本社共催、帝京大学・帝京大

同校で表彰式が行われた。瀧口さんは「大志を抱け」と題し、昨夏の学校の研修で訪れたフィリピンでスラム街の子供たちの様子を目の当たりにし、医師になりたいの思いを強めたことをつづった。フィリピンでは、物乞いをしてくる少年や、学校に通っているはずの時間帯に赤ちゃんを背負って洗濯をする少女を見て、恵まれた環境のおかげで大志を抱くことができる気が付いた。医師になり、恵まれない海外の人たちの生活を支えられるようになりたいと目標を誓った。

「第20回高校生小論文コンクール」(生涯学習振興学グループ特別協賛)で、財団主催、読売新聞西部本社共催、帝京大学・帝京大の奨励賞を受賞し、14日、宮崎市の宮崎第一高1年、瀧口奏子さん(15)が個人部門の奨励賞を受賞し、14日、

新聞掲載

読売新聞(2月15日掲載)



「高校生小論文コンクール」で表彰されました。



©MIYAZAKI DAIICHI
Unauthorized reproduction prohibited

